ドラッグレター（2020年　10月号）

1～3 年生

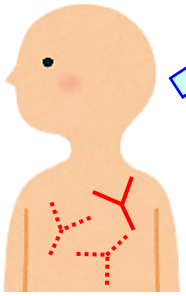
インフルエンザワクチンの接種時期

：インフルエンザウイルスを薬剤等で処理して感染力を失わせたもの（**抗原**といいます）

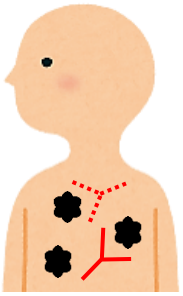
：インフルエンザウイルスに感染するのを予防するための免疫（**抗体**といいます）

抗体が存在しない状態
（～11 月初め）

インフルエンザワクチン（**抗原**）を接種する
（11 月初め～中頃がおすすめ）

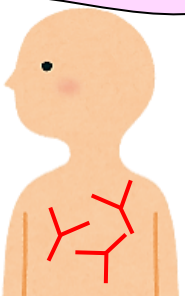


抗体が十分に存在しない状態
（5 月初め～）



抗原に対する抗体が作られている状態
（11 月中頃～終わり）

予防が期待できる



抗体が十分に存在する状態
（11 月終わり～4 月終わり）

予防（免疫）が期待できるのは**接種後約 5 ヵ月**まで

抗体が十分に作られるまで**2～3 週間**かかります

インフルエンザワクチンを毎年接種するのには、2 つの理由があります。

- ワクチンの効果が長く続かないから
- ウイルスが毎年変化するから

新型コロナウイルスの感染予防対策を行うことで、インフルエンザにかかる確率は下げられますが、インフルエンザウイルスは新型コロナウイルスより感染力が強く、完全には防げません。近年のインフルエンザの流行時期を考え、インフルエンザワクチンの接種は 11 月初め～中頃がおすすめ！

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 ー出張相談会ー　保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談･聞きたいことがある人は保健室まで！
10 月は中止します。（相談等は保健室の先生まで！）

作成･発行元　北陸大学薬学部
准教授　大栁賀津夫**（学校薬剤師）**
准教授　岡本晃典（薬剤師）

医薬品教育・薬物乱用防止教育＆健康サポートシステム（**http://www.drug-letter.com/**）　今月号の**くわしい情報**はこちら！